

さくがわ・たかゆき

2021年9月、浦添市前田にさくがわクリニックを開院。モヤモヤ血管が原因で起こる長引く痛みで悩む患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供。放射線診断専門医。IVR(画像下治療)専門医・指導医。運動器カテーテル治療研究会・監事。



長引く痛みはなぜ起こる?

～新治療 さくがわクリニックのカテーテル治療～

文・佐久川 貴行(さくがわクリニック院長)

(第3週に掲載)

長引く痛みでお悩みの患者さんに運動器カテーテル治療・動注治療を提供する、浦添市前田のさくがわクリニック院長が、さまざまな疾患とその治療法について解説します。

や血管は、40歳以上の方に生じやすいです。40～50代の方に見られる変形性ひざ関節症は比較的軽症であることが多く、イスからの立ち上がりや歩き始めにひざが痛むことが多いです。軽症のため、レントゲン検査を行っても「骨に大きな異常はない」と評価されることがあります。個人差はありますが、軽症の方は、鎮痛薬内服、湿布、リハビリなどの治療を行うと数週間で治

骨の表面のモヤモヤ血管が
痛みの原因に

変形性ひざ関節症は日本国内
だけでも数百万人の患者がいる
とされ、痛みや歩行障害のため、
生活の質が著しく低下します。
数カ月から十数年かけて徐々に
進行するため、軽症～重症まで
さまざまな状態の方がいらっしゃ
います。今回は比較的軽症の
「変形性ひざ関節症」について説
明します。

ひざ関節の骨（大腿骨）と骨（脛骨）の間に軟骨があります。変形性ひざ関節症は、ひざ関節の間の軟骨がすり減って、骨（大腿骨）と骨（脛骨）とがぶつかり合うことで痛みを生じたり、骨が変形してしまう疾患です。なぜ変形してしまうのか？加齢、肥満、遺伝、外傷歴などさまざまな原因が関与していると考えられていります。

軽症でも3ヶ月以上経過すると痛みが治まらないケースも

ひざの変形（軽症）による長引く痛み

まる」とが多いです。

一方、軽症の方でも3カ月以上経過すると、前述の治療を続けているにも関わらず、なかなか痛みが治まらないことがあります。当院ではこのようの方に超音波検査を行っており、ひざ関節の痛むところをチェックすると、骨の表面にモヤモヤ血管による異常血流が見られることが多いです。骨には確かに異常はなかつたのですが、骨の表面に異常が見られ、「痛みの原因が明らかになつた」と安心される方は多いです。



3カ月以上続く長引く痛みの場合、骨の表面にモヤモヤ血管による異常血流が見られるケースが多くあります。

40～50代の方に見られる変形性ひざ関節症は、イスからの立ち上がりや歩き始めにひざが痛むという症例が多く見られます。

引く痛みの方に、当院では運動器カテーテル治療を提供しています。太ももの付け根の脈が触れる血管にカテーテルを挿入し、ひざ関節までカテーテルを進めで直接投薬することでモヤモヤ血管を減らす治療です。歯科治療と同じ部分麻酔で行うため、片側であれば30～60分程度。治療後1時間安静にしていただけたま、午前か午後の日帰り手術となっています。

